

## □ 学校経営の重点方針 < 拓進小学校が目指す学校 >

### (1) たくましく生きるための健康な体づくりを進める学校 (つよい子)

未来をたくましく生きるための「健康な体」は、「確かな学力」と「豊かな心」を育む基礎であり、家庭と連携した**基本的な生活習慣の定着**が重要となる。「早寝・早起き・朝ごはん」やメディア利用時間の短縮などについて啓発し、保護者の協力を得ながら、子どもに正しい生活習慣を身に付けさせる。**運動の日常化**を通して、たくましい健康な体づくりを進める学校を目指すために、子どもが主体的に運動に取り組む環境を整え、体力づくりや体育授業の改善・充実を図る。

### (2) 一人一人に主体的に学ぶ力と確かな学力を育てる学校 (まなぶ子)

苫小牧市の授業改善に向けた共通取組事項(焦点化、イメージ化、視覚化)に基づく**徹底した授業改善**を通して、どの子も主体的に学び、子どもがわかる授業を行う。**継続した家庭学習の定着**を目指し、宿題による習慣化と自主学習の確立に向けた支援を、家庭と連携を図りながら、学校が積極的にを行う。一人一人の学びを豊にするための**読書活動の推進**に向けて、様々な場面での読書機会を増やすとともに、授業における学校図書館の活用拡大を図る。**特別支援教育の充実**を図り、一人一人に応じた支援や手立てを大切にする特別支援教育の考え方を、全ての学級の学びに活かす。

### (3) 豊かな人間性を育て、他者を思いやる人を育てる学校 (やさしい子)

**不登校の未然防止**に向けて、子どもたちが「学校が楽しい」と感じるよう、自己肯定感や自己有用感を育む居場所づくりを行う。**いじめの未然防止**に向けて、子どもたちが「いじめは絶対許されない」と考えることができるよう、子どもたちが主体的に考え、活動する集会やルール作りを行う。子どもたちが互いに尊重し、共によりよく生きようとする態度や、命を大切にする心を育むための、自尊感情や相手意識、規範意識を養うために、「**道徳の日**」を設定して地域・家庭と連携した**道徳教育の充実**を図る。

### (4) 総合的な学校力を向上させ、保護者・地域に信頼される学校 (学校像)

学校が行う全ての取組を、どの学級でもベクトルを揃えて行い、様々な課題に対して「**チーム学校**」として組織的に解決を図る**組織力を高める**。若手教員だけでなく、どの年代の教員も、それぞれのステージにあった力量を身につけるために進んで研修し、**教師力を向上させる**。**家庭や地域社会との連携、エリア3校での連携**に進んで取り組み、「**地域の学校**」として地域全体で子どもを育てる環境を創る。総合的な学校力高め、保護者が安心して通わせられる学校、地域からはあたたかく支えてもらえる「**信頼される学校**」を目指す。

## □ 今年度の重点取組事項

### I 一人一人に主体的に学ぶ力と確かな学力を育てる取組

#### (1) 徹底した授業改善

- 苫小牧市共通取組事項（焦点化、イメージ化、視覚化）の推進
- 単元計画（国語科）、ノート計画（算数科）の作成とデータ保存
- 全ての教員が授業改善を目指した指導計画の作成ができるようにする

＜数値目標＞児童のアンケートにおいて「授業がわかる」という回答を国語50%以上、算数60%以上にする。

#### (2) 継続した家庭学習

- 宿題と自主学習による毎日の復習の確立
- 家庭学習の手引きと学習計画（高学年）を活用
- 家庭学習の質の向上（活用力を身につける）

＜数値目標＞「学年×10分+10分」の家庭学習ができる児童の割合を、低学年90%以上、中・高学年85%以上にする。

#### (3) 読書活動の推進

- 朝読書、ボランティアによる読み聞かせなど読書機会の充実
- 授業における学校図書館の活用
- 国語科における並行読書の推進
- 貸出数の少ない「自然科学」に関する本に興味をもたせる

＜数値目標＞年間の1人当たりの学校図書貸出数の目標を、低学年30冊、中学年27冊、高学年25冊以上にする。

#### (4) 特別支援教育の充実

- 通常学級における支援や配慮を要する児童への手立ての確立（UD）
- 特別支援学級における交流及び共同学習の充実
- 全学年用の指導内容の決定と年間指導計画の作成

＜数値目標＞交流学習の充実に向けた啓発学習を100%の学級において実施する。

## Ⅱ 豊かな人間性を育て、健康な体づくりを進める取組

### (5) 不登校への対応

- SSW及び関係機関との連携
- 子ども支援ツール「ほっと」の活用
- 自己有用感を育む学級づくり
- 教育相談の充実

＜数値目標＞学校評価児童アンケートにおいて「学校は楽しい」という回答を90%以上にする。

### (6) いじめ問題への対応

- アンケート及び個人面談の実施
- 児童が主体の「いじめをなくそう集会」の開催
- いじめをゆるさないルール作り
- 全ての児童に対して個別の教育相談を実施する

＜数値目標＞アンケートにおいて「いじめは許されない」という回答を100%にする。

### (7) 道徳教育の充実

- 年4回の「道徳の日」の設定
- 道徳授業の改善（考える道徳）
- 道徳通信を通じた教科化に向けた研修
- 積極的な授業公開、地域の人材を生かした道徳授業の実践

＜数値目標＞児童アンケートにおいて「道徳で考えたことを生かしている」という回答を70%以上にする。

### (8) 運動の日常化

- 主体的に運動できる環境の整備
- 運動会種目と体力づくり、体育授業の関連付け
- 取組の成果発表会等の設定
- 体力づくりカード、体力づくりコーナーの充実

＜数値目標＞新体力テストの「柔軟性」「走能力」「跳能力」において、全ての学年で全国平均以上にする。

### Ⅲ 総合的な学校力を向上させ、保護者・地域に信頼される学校

#### ◎学校力の向上

- ★人材育成（ミドルリーダー・若手教員）
- ★教師力（資質・能力）の向上
- ★組織力の向上
- ★学校公開の開催
- ★事務への業務移管  
（担任業務の負担軽減を図り、児童と向き合う時間や教材研究の時間を確保）

#### ◎家庭・地域との連携

- ★学校の取組の発信（学校だよりの増刊）
- ★オープンスクールの実施
- ★「学びの3か条」の推進による生活習慣の確立
- ★子育て研修会の開催
- ★地域の人材活用の窓口の一本化

#### ◎エリア3校での連携

- ★学校教育力向上エリア会議
- ★教科・道徳における実践交流
- ★特別支援教育における支援体制の充実
- ★生徒指導等の情報共有
- ★統一性・系統性ある取組（学習指導・道徳教育・特別支援教育）